

カーボンニュートラルを実現する、夢のエネルギー源。
環境メガトレンド投資の大本命

ワンポイント
One Point

水素

nikko am
Nikko Asset Management

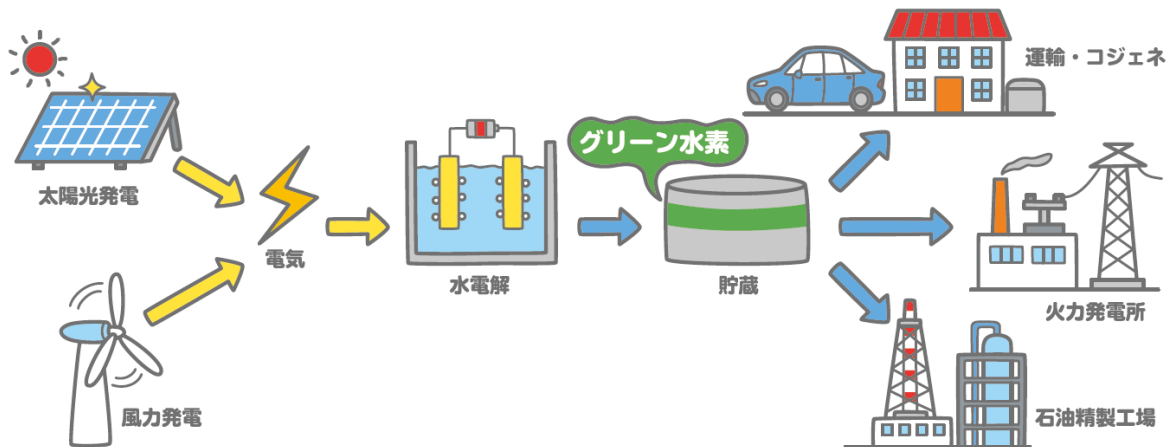
vol.3

よく聞く「水素社会」って、なんですか？

カーボンニュートラルを実現するために、水素社会の構築を目指す動きが活発になってきました。水素社会とは、温室効果ガスであるCO₂を利用段階で排出しない水素が、社会の中で適材適所に使われる、そんな社会を指します。

事業化気運が高まっているのが、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーからつくられた余剰電力を使って、水を電気分解することで「グリーン水素（製造工程でCO₂を排出しない）」を生成し、運輸やコジェネなど、さまざまな用途に利活用する「Power to Gas（パワーツーガス、P2G）」です。我が国でも、2021年6月より山梨県・米倉山（こめくらやま）で実証実験が開始されるなど、大きな注目を集めています。

■ 「Power to Gas（パワーツーガス、P2G）」のイメージ



※上記はイメージです

○当資料は、日興アセットマネジメントが「水素」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。